

# 2019年度 TAや大学院生のための教育実践 ワークショップ開催のご案内

(第2回)

## 「対話型、問題発見・解決型教育」や「TA」って、なに？

※全6回のワークショップですが、1つから参加可能です。事前の申し込みが必要です。

日時 2019年5月31日（金） 16:30-18:00

会場・定員 7号館310教室；30名

対象者 高度授業TA、授業TAの学生、博士課程の院生および教育に興味を持っている院生

### 内 容

山の特徴を知る：  
大学の変化  
早稲田の教育改革とTA制度  
大学の授業  
先輩の経験



大学院生として自身の研究以外に、TAとして学部生への指導や先輩として後輩への指導が求められるケースが増えています。さらに、大学教員となるためには、従来は、研究の能力および業績だけが採用に直結していたが、現在は、教育の能力および業績も問われるようになってきています。そこで大学総合研究センターでは、より良い大学院生活を過ごすため、より効果的に後輩や学部生に指導できるため、そして、これから教員になるための機会を提供いたします。（詳細は裏面参照）

第2回目では、参加者と一緒に**早稲田の教育改革とTA制度**を中心に情報共有しながら、早稲田の教育の魅力と一緒に味わいましょう。

ツール：  
ファシリテーションスキル  
時間管理・心身健康



### 担当者

大学総合研究センター  
講師：蔣 妍  
専門：大学教育学

### 申込方法

以下の申請フォーム（または右側QRコード）よりお申込み下さい。  
※各実施日の前日23:59までにお申し込みください。

<https://ux.nu/PRB5p>（短縮URL） ※事前にMyWasedaにログインしてください。



### 主催

大学総合研究センター  
（問い合わせ先：watac@list.waseda.jp）



早稲田大学 大学総合研究センター  
Waseda University Center for Higher Education Studies

参加者は以下の学びが期待できます。

1. 大学生活(自分の研究を進めることおよび他人を指導する)を送る上で必要とされる教育・学習理論ならびに教育実践に関わる基本的な知識を学ぶこと。
2. 講師の提供するテーマや各自が抱えている固有の問題意識にもとづきながら、他の院生とのコミュニケーションを通して、自身が置かれている時代的、社会的位置付けへの洞察を深めること。
3. 異なる研究領域の院生と交流できること。

参加条件は以下の通りです。

1. 自身の学びや他者の学びに興味を持っていること。
2. 主体的にコミュニケーションやグループディスカッションに参加できること。
3. 人の意見や問題意識に積極的に耳を傾け、意見や感想を述べられること。

(3Kを守ること:敬意を持って、建設的に、忌憚なく)

日程(仮)	テーマ	内容
第1回目 5月17日(金) 18:15-19:45	あなたにとって、大学とは？	<b>大学の変化</b> 1)日本で大学の変貌および大学改革の取り組み 2)MOOCを手掛かりに、大学教育の意義を考える
第2回目 5月31日(金) 16:30-18:00	「対話型、問題発見・解決型教育」や「TA」って、なに？	<b>早稲田の教育改革とTA制度</b>
第3回目 6月11日(火) 18:15-19:45	「大学の授業」とは？	<b>大学の授業</b> 1)大学の授業と単位制度 2)アクティブラーニング授業
第4回目 6月21日(金) 18:15-19:45	話を引き出すためのコツは？	<b>ファシリテーションスキル</b>
第5回目 (時間未定)	【先輩TAに聞く】 実際の現場はどんな状況？	<b>先輩の経験</b> TAとしての心得
第6回目 7月19日(金) 18:15-19:45	“よく学び、よく遊ぶ”ためには？	<b>時間管理・心身健康</b> 1)時間管理関連ツールなどの共有 2)健康管理法、ストレス対処法や 大学で使えるリソースの紹介

## 主催

大学総合研究センター  
(問い合わせ先: watac@list.waseda.jp)



早稲田大学 大学総合研究センター  
Waseda University Center for Higher Education Studies